

# 技術者の資格・工事経験調書

商号又は名称：\_\_\_\_\_

(直近の経営事項審査結果通知書の審査基準日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日)

配置予定技術者の氏名		監理（主任）技術者   〇〇   〇〇（フリガナを記入）
法令による資格・免許 （資格者証の写し添付）		1級〇〇施工管理技士   平成〇〇年〇〇月取得（登録番号〇〇〇） （監理技術者資格者証番号 _____）
工事経験の概要	工           事           名	
	発    注   機   関   名	
	施       工       場       所	
	契       約       金       額	
	工                           期	
	従       事       役       職	現場代理人・主任（監理）技術者・その他（ _____ ）
	工       事       内       容	※同種・規模が確認できる内容を記入すること。
	C O R I N S への登録	有（ _____ ）・無
他の工事の従事状況	工       事       名       称	
	発    注   機   関   名	
	工                           期	
	従       事       役       職	現場代理人・主任（監理）技術者・その他（ _____ ）
	本工事と重複する場合の対応措置	1 開札日の前日までに完成検査が終了している。（ ____ 月 ____ 日） 2 契約締結日までに完成検査を行うことが決定している。（ ____ 月 ____ 日）
	C O R I N S への登録	有（ _____ ）・無

注 1 直近の経営事項審査結果通知書の審査基準日には、現在有効な経営事項審査の結果通知書の審査基準日を記入すること。

2 「工事経験の概要」欄におけるC O R I N Sへの登録について、いずれかに○を付すこと。有の場合は登録番号を（ \_\_\_\_ ）内に記入すること。無の場合は契約書の写し等（公告で定めた資格要件が確認できるもの）を添付すること。ただし、配置技術者の工事経験が要件とされていない工事にあっては、この欄の記入は不要である。

3 監理技術者の配置が要件とされている工事にあっては、監理技術者資格者証の写し（表裏とも）及び監理技術者講習修了証の写し（表面のみ）を添付すること。

4 主任技術者の配置が要件とされている工事にあっては、資格を確認できる書類の写しを添付すること（実務経験者の場合は、実務経歴書を添付すること）。

5 監理技術者又は主任技術者と請負人との雇用関係が確認できるもの（健康保険証の写し（保険者番号及び、被保険者等記号・番号はマスキングすること）等）を添付すること。ただし、監理技術者資格者証で確認できる場合はこの限りでない。なお専任配置を要する工事の場合は、恒常的雇用関係（3か月以上）が必要である。

6 現場代理人以外の「準じる技術者」の場合は、原則として工事の全期間従事していることとし、「具体的な役職名」を記入すること。また、当該技術者の配置された立場が、「下請けを指導する立場」であったことを確認できる施工体系図等を添付すること。

7 従事中の工事がない場合は、「他の工事の従事状況」欄の工事名称の欄に「なし」と記入すること。

8 「本工事と重複する場合の対応措置」欄は、該当する数字に○を付し、完成検査日を記入すること。なお、従事中の工事の契約工期の終期が開札日以降の場合で、該当する項目がある場合に記入すること。

9 「他の工事の従事状況」欄におけるC O R I N Sへの登録については、いずれかに○を付し、有の場合は登録番号を（ \_\_\_\_ ）内に記入すること。無の場合は契約書の写し（工期が確認できるもので可）を添付すること。

10 複数の技術者を記入する場合は、この様式を複写して添付すること。